

断熱等性能等級に新設される最高等級 7 に対応 100 mm厚の『キューワンボード MA』 10月1日(土)より全国で販売開始

アキレス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:日景一郎)は、最大 100 mm厚の製品の実現により、住宅・建築物の断熱・省エネ性能向上に貢献する高性能硬質ウレタンフォーム断熱材『キューワンボード MA』を、2022年10月1日(土)より全国で販売開始します。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、断熱等性能等級の強化とともに、すべての新築物件に省エネ基準の適合を義務付ける「建築物省エネ法等改正案」が2022年6月に国会で可決・成立しました。これにより、改正前の基準で最高等級だった断熱等性能等級4を下回る建物は2025年以降、新たに建てられなくなります。さらに2022年10月1日には、現行の省エネ基準を大きく上回る断熱等性能等級(6及び7)が新たに創設されます。

こうした状況の中で、当社は硬質ウレタンフォーム断熱材のリーディングカンパニーとして、最高等級7にいち早く対応するため、「もっと厚く、もっと暖かく」をコンセプトに、『キューワンボード MA』を新たに開発しました。これまで多くの省エネ住宅に採用されてきた高性能断熱材「キューワンボード」を貼合せ加工し、外皮の様々な部位に使える「キューワンボード」製品として初めて厚さ100mmを実現。熱の通りづらさを表す熱抵抗値が、これまで最も厚い「キューワンボード」製品(厚さ61mm)で $2.8 \text{ m}^2 \cdot \text{K}/\text{W}$ だったのが、『キューワンボード MA』(厚さ100mm)では $4.6 \text{ m}^2 \cdot \text{K}/\text{W}$ と1.6倍以上アップしました。

また、両面に使用した特殊アルミ箔面材が遮熱効果を発揮し、夏季の日射熱侵入による屋内温度上昇を抑制。アルミ箔面材は水蒸気や紫外線等からフォームを保護し、難燃性の向上も期待できます。さらに、外張りビスで通気胴縁を締め込む際に表面が潰れにくいいため精度よく断熱施工ができるなど、「キューワンボード」の良さはそのままに断熱性能が飛躍的に向上。優れた省エネ性能で温室効果ガス排出削減、そしてカーボンニュートラルを目指した住まいづくりに貢献します。



写真：高性能硬質ウレタンフォーム断熱材『キューワンボード MA』

※『キューワンボード MA』の「MA」は、コンセプトである「もっと厚く、もっと暖かく」(Motto Atsuku、Motto Atatakaku)から名付けました。

『キューワンボード MA』製品概要

製品名	キューワンボード MA
発売日	2022 年 10 月 1 日(土)
製品特長	■高性能断熱材をもっと厚くすることで断熱性能が飛躍的にアップ 従来製品(厚さ61mm)から1.6倍以上高い熱抵抗値4.6㎡・K/Wを実現(厚さ100mm)。新たな上位等級となる断熱等性能等級6・7に対応する住まいづくりに貢献します。 ※本製品はJIS認証品(JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号D I)の貼合せ加工品です。
	■夏に求められる遮熱性能を確保 優れた遮熱性能を発揮する特殊アルミ箔面材を両面に使用。夏季の日射熱侵入による屋内温度上昇を抑制します。
	■優れた施工性 適度な表面硬度を有するため、専用ビスで通気胴縁を締め込む際に表面が潰れにくく、精度よく断熱施工ができます。
材質	硬質ウレタンフォーム
規格寸法	厚さ100/90/80mm×幅910mm×長さ1,820mm
参考設計価格	18,500円/枚(税込):100mm厚 17,000円/枚(税込):90mm厚 15,500円/枚(税込):80mm厚
販売地域	全国
ホームページ	https://www.achilles.jp